

横河電機株式会社

平成24年3月期(2011年度)  
当社グループの取り組み

2011年5月16日

代表取締役社長 海堀 周造

東日本大震災で被災された方々に  
謹んでお見舞い申し上げますとともに、  
被災地の一刻も早い復旧を  
心よりお祈り申しあげます。

## ■ 2010年度 経営成績

(億円)

	FY09実績(A)	FY10計画	FY10実績(B)	差異(B-A)
受注高	3,152	3,400	3,341	189
売上高	3,166	3,280	3,256	90
営業利益	26	110	111	85
経常利益	2	80	86	84
当期純利益	▲148	▲25	▲67	81

- ◆ 投資有価証券評価損 : 23億円
- ◆ 希望退職実施に伴う特別損失: 27億円

2009年度と2010年度の2年間 

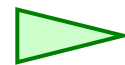
## 次なる飛躍に向けた構造改革の時期

- 固定費削減のアクションプラン
- 事業ポートフォリオ見直しのアクションプラン

## ■ 固定費の削減に向けたアクションプラン

### ◆ 固定費削減

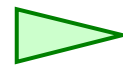
当初計画: 340億円削減



実績: 560億円を削減

### ◆ 損益分岐点売上高

当初計画: 3,500億円達成



実績: 3,090億円を達成

## ■ 事業ポートフォリオ見直しのアクションプラン

- 【基本方針】
- ・制御事業へのリソース集中
  - ・基盤技術としての計測技術の維持発展
  - ・新事業の選択と早期立ち上げ
  - ・不採算事業からの撤退

すべての不採算事業の見直しを実行

撤退

フォトニクスビジネス  
アドバンスステージビジネス

縮小

半導体テストビジネス  
脳磁計ビジネス

子会社への統合

測定器ビジネス

## ■ 構造改革の積み残しアイテム

- ◆ フォトニクスビジネスからの撤退の完了と相模原事業所の有効活用に見途をつける
- ◆ 半導体テストビジネスにおけるアライアンスを実現させる



今年度中の完遂に向け全力で取り組む

## ■ 構造改革の積み残しアイテム

### 撤退

フォトニクスビジネス  
アドバンスステージビジネス

### 縮小

半導体テストビジネス  
脳磁計ビジネス

撤退・縮小の意思決定に伴い、これらの事業に従事していた社員を対象に希望退職を募集

苦渋の選択ではあったが、制御事業のコスト構造改革は必須であり、「利益悪化につながるリソースの投入はできない」との考えから決断



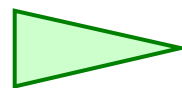
## ■ 当社主要拠点には、直接の被害はほとんどなし

### ◆ 国内の制御市場

被災されたお客様： 復旧への動きが一部見られるが  
未だ復旧の目途が立たないお客様も多い

先行き不透明な状況

電子部品不足  
使用電力制限



当社グループの生産活動に  
影響を与える可能性

2011年度上期は  
一時的にマイナスの影響が出る可能性がある

## ■ 2011年度の業績予想は未定

### ◆ 電子部品の調達・電力供給

▶ 日々改善しているものの予断を許さない状況

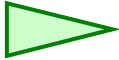
今後の見通しがついた時点で速やかに公表

## ■ 中期経営計画の発表を延期

連結業績予想の発表後に中計発表時期を決定

## ■ 事業リスクの最小化

- ◆ 東日本大震災の影響による電子部品の調達懸念、  
使用電力制限 など

 事業活動にマイナスの影響を与える可能性のある  
リスクの最小化に重点的に取り組む

## ■ 制御事業

- ◆ 海外市場での成長戦略を展開
- ◆ 国内では被災されたお客様の復興を全面的にサポート

## ■ 日本市場

2011年度上期は、震災の影響により一時的に落ち込む可能性があるものの

▶ 下期以降、中長期的には復興に向けた需要が増加

## ■ 海外市場

石油化学、化学、石油・ガスのアップストリーム、石油精製など  
エネルギー関連市場において

▶ 新興国を中心に中長期的に市場は安定的に成長

最大の市場である電力市場においても、火力発電向け投資の増加により

▶ 市場規模が拡大

成長戦略を震災対応と同時進行で進めることで  
制御事業の利益率改善を達成

◆ **代表取締役社長** 海堀 周造

◆ **取締役**  
奈良 寿  
黒須 聡  
西島 剛志

◆ **社外取締役**  
棚橋 康郎  
勝俣 宣夫  
浦野 光人

## ◆ 奈良 寿 (なら ひとし)

1985年 4月 横河北辰電機(株)(現横河電機(株))入社  
2001年10月 Yokogawa Engineering Asia Pte. Ltd. 副社長  
2003年10月 Yokogawa Thailand Ltd. 社長  
2007年 1月 ソリューション事業部 第1営業本部長  
2010年 4月 常務執行役員 ソリューション営業本部長  
2011年 4月 常務執行役員 ソリューション営業統括本部長

## ◆ 黒須 聡 (くろす さとる)

1983年 4月 横河北辰電機(株)(現横河電機(株))入社  
2006年 4月 執行役員 IA事業部マーケティングセンター長  
2007年 4月 常務執行役員 IA事業部長  
2009年 4月 常務執行役員 グローバル営業本部長  
2010年 4月 Yokogawa Engineering Asia Pte. Ltd. 社長  
2011年 4月 常務執行役員 IA マーケティング本部長

## ◆ 西島 剛志（にしじま たかし）

1981年 4月 (株)北辰電機製作所(現横河電機(株))入社

2001年 4月 プロダクト事業部フィールド技術2部長

2005年 4月 IA 事業部プロダクト事業センター フィールド機器PMK部長

2008年10月 IA 事業部プロダクト事業センター長

2010年 4月 横河メータ&インスツルメンツ(株)社長

## ◆ 浦野 光人（うらの みつと）

1971年 4月 日本冷蔵(株)(現(株)ニチレイ)入社

1997年 4月 同社 経営企画部長

1999年 6月 同社 取締役

2001年 6月 同社 代表取締役社長

2007年 6月 同社 代表取締役会長

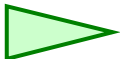
兼職：三井不動産(株) 社外取締役、JX ホールディングス(株) 社外監査役、  
(株)NSD 社外監査役

## ■ 資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに 剰余金の処分

不採算事業の赤字やこれらの構造改革費用の計上による純資産の減少により少なくなっている配当可能額を増加させ、将来の配当に備える

## ■ 買収防衛策の継続導入

現在の公開買付制度では、株主が買収提案を検討する時間の確保や当社取締役会が買収提案に対して対案を作成する時間の確保が不十分なため、継続導入が必要と判断

 取締役の恣意的判断を排除するため、元企業年金連合会専務理事の矢野朝水氏を独立委員会に招聘



期末配当につきましては、  
当期純損益が赤字であること及び  
純資産の状況に鑑み、  
誠に遺憾ながら実施を見送らせて頂くこととしました。  
株主の皆様には誠に申し訳なく存じます。

できる限り早い復配に向け  
収益の改善に努めてまいりますので、  
何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。